

# 令和5年度 中部地方ダム等管理フォローアップ委員会

## 【令和5年度の主な出来事】

---

令和5年12月15日

国土交通省中部地方整備局  
水資源機構中部支社

# 令和5年度の主な出来事

---

## 1. 令和5年台風第2号及び第7号等について

- 1-1. 令和5年台風第2号 出水概要、事前放流、防災操作(洪水調節)の状況
- 1-2. 令和5年台風第7号 出水概要、事前放流、防災操作(洪水調節)の状況
- 1-3. 異常洪水時防災操作(未実施)
- 1-4. 蓮ダム、長島ダムの事前放流
- 1-5. 横山ダムのダム運用高度化(増電に資する取り組みについて)

## 2. 小渋ダムバイパストンネルの災害復旧工事完了について

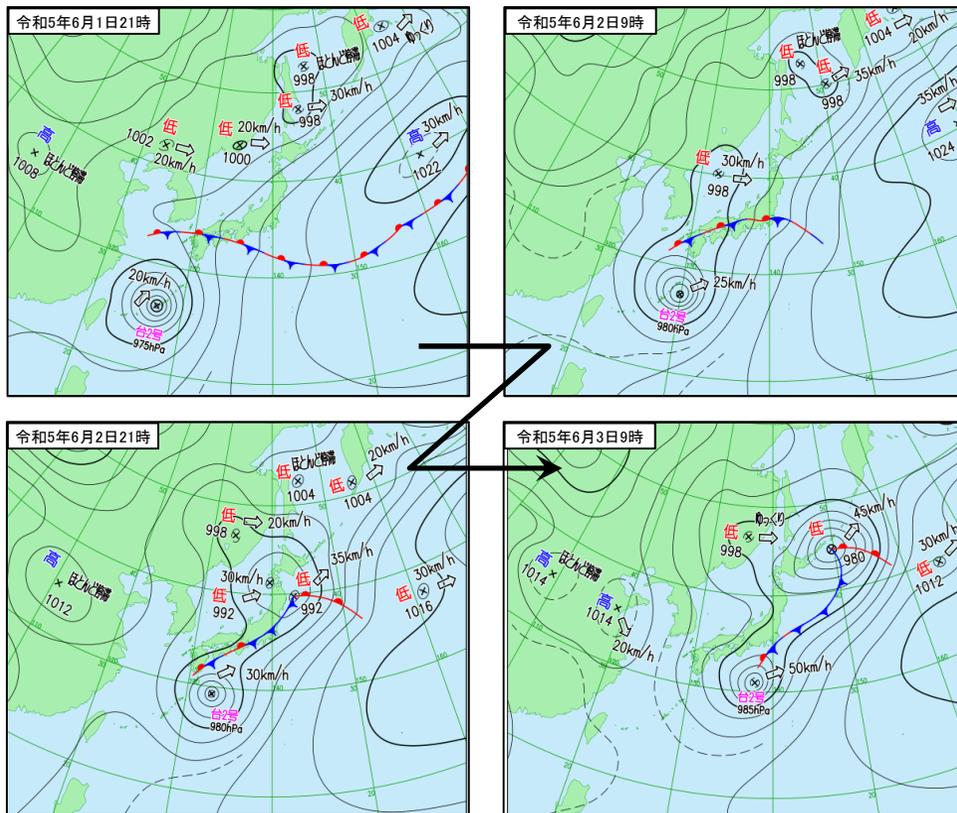
## 3. アニバーサリーイベント(新豊根ダム50周年)

## 4. 長良川河口堰におけるアユふ化事業への協力

## 1-1. 令和5年台風第2号 出水概要

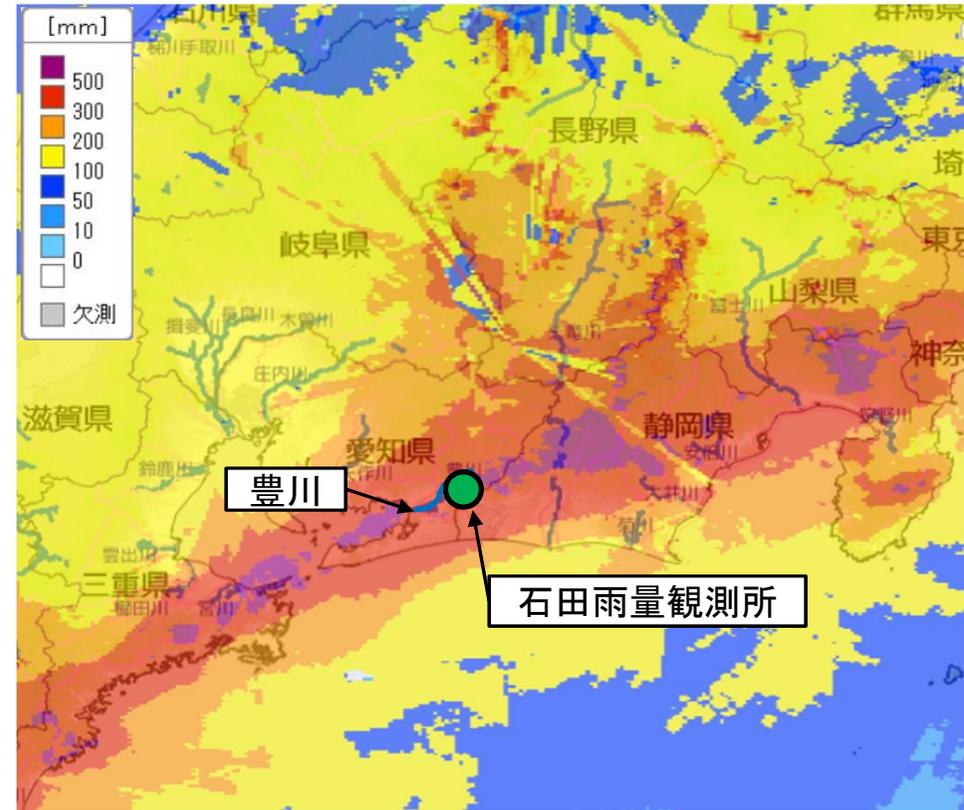
- 停滞する前線に向かって、台風第2号からの非常に湿った空気が流れ込み、前線の活動が活発となり、各地で非常に激しい雨となった。
- 静岡県・愛知県・三重県では、線状降水帯が発生し、一部地域で降り始めからの総降水量が500mmを超えた。
- 特に豊川水系の流域では、線状降水帯による非常に激しい雨が長時間降り続き、石田雨量観測所においては総雨量439mmを記録した。

### 【天気図】



(気象庁ウェブサイトより)

### 【総降水量分布図】



令和5年6月1日10:00～6月3日10:00までの累加雨量

# 1. 令和5年台風第2及び第7号等について

## 1-1. 令和5年台風第2号 出水概要

- 管内の国管理河川では、狩野川水系黄瀬川、豊川水系豊川(放水路)及び庄内川水系庄内川で氾濫危険水位を超過し、天竜川水系天竜川及び豊川水系豊川で避難判断水位を超過。
- 管内のダムでは、天竜川水系、矢作川水系、庄内川水系、木曾川水系の8ダムで洪水調節を実施。
- 水資源機構管理の味噌川ダムにおいては、特別防災操作を実施。

### 【水位状況】

水系名	河川名	観測所名	今回 最高水位	水防団 待機水位	氾濫 注意水位	出動水位	避難 判断水位	氾濫 危険水位	計画 高水位
狩野川	狩野川	徳倉	6/2 20:50 4.94	3.00	4.00	4.60	6.80	7.20	7.58
		来光川	6/2 18:50 5.23	3.70	5.20	6.10	8.10	8.45	8.45
	大場川	6/2 20:00 5.97	3.00	4.80	5.40	7.20	7.60	7.84	
	黄瀬川	6/3 0:50 4.33	2.00	3.00	3.80	3.90	4.20	6.18	
	安倍川	安倍川	6/2 23:50 2.90	1.50	2.40	3.00	3.40	4.00	4.82
大井川	大井川	6/3 0:00 2.08	1.30	1.70	2.20	2.70	3.30	4.99	
菊川	菊川	6/2 17:20 2.95	1.50	2.50	3.20	3.20	3.50	5.94	
	牛淵川	6/2 23:40 2.25	1.80	2.10	2.30	2.30	2.70	4.06	
天竜川	天竜川	沢渡	6/2 17:00 1.20	0.50	0.90	1.30	1.40	1.60	4.41
		市田	6/2 16:20 1.85	0.70	1.40	2.00	3.30	3.60	4.81
		天竜峽	6/2 18:00 14.56	9.70	11.00	12.50	15.60	16.20	20.20
		鹿島	6/3 0:00 4.58	2.20	3.50	4.50	5.60	6.00	8.77
		中ノ町	6/3 00:40 3.31	0.60	1.60	2.50	3.10	3.40	4.77
豊川	豊川	石田	6/2 16:30 6.97	2.40	4.20	4.70	6.20	7.40	8.13
		当古	6/2 22:40 6.93	3.30	4.70	5.10	6.20	7.10	7.62
	豊川 (放水路)	放水路第一	6/2 23:00 9.74	5.00	7.00	7.60	9.10	9.10	10.64
矢作川	矢作川	高橋	6/2 15:50 4.26	1.00	2.70	3.40	5.90	6.80	7.22
		岩津	6/2 17:10 6.96	4.00	4.90	6.40	7.80	8.50	10.89
		米津	6/2 18:30 9.31	4.90	6.00	7.50	9.90	10.30	10.87

水系名	河川名	観測所名	今回 最高水位	水防団 待機水位	氾濫 注意水位	出動水位	避難 判断水位	氾濫 危険水位	計画 高水位
庄内川	庄内川	土岐	6/2 14:40 4.82	2.40	3.00	4.00	4.50	4.70	6.39
		多治見	6/2 15:10 4.35	2.50	3.20	3.70	5.30	5.60	6.78
		志段味	6/2 16:20 5.56	3.40	4.60	5.20	5.90	6.40	7.50
		枇杷島	6/2 18:20 6.96	4.60	5.60	6.30	8.50	8.90	9.08
	矢田川	瀬古	6/2 14:40 4.24	2.80	3.30	5.00	5.20	5.50	5.71
木曾川	木曾川	今渡	6/2 17:40 7.42	4.00	5.50	7.30	11.10	11.50	12.09
		犬山	6/2 17:50 9.94	5.80	9.20	10.40	11.60	12.20	14.22
鈴鹿川	安楽川	川崎	6/2 14:10 0.5	0.10	0.50	0.50	1.00	1.70	5.64
櫛田川	佐奈川	西山橋	6/2 22:50 2.55	1.60	2.00	2.40	2.70	3.20	3.27
宮川	勢田川	岡本	6/2 14:30 3.03	2.50	2.60	2.90	3.20	3.40	3.52

### 【ダムの洪水調節状況】(水資源機構管理ダム含む(紫書き))

水系	ダム名	最大流入量	最大流入時の放流量	調整量
天竜川	新豊根ダム	約897m <sup>3</sup> /s	約41m <sup>3</sup> /s	約856m <sup>3</sup> /s
	小洪ダム	約733m <sup>3</sup> /s	約313m <sup>3</sup> /s	約420m <sup>3</sup> /s
	美和ダム	約446m <sup>3</sup> /s	約310m <sup>3</sup> /s	約136m <sup>3</sup> /s
矢作川	矢作ダム	約1,441m <sup>3</sup> /s	約1,002m <sup>3</sup> /s	約439m <sup>3</sup> /s
庄内川	小里川ダム	約219m <sup>3</sup> /s	約68m <sup>3</sup> /s	約151m <sup>3</sup> /s
木曾川	岩屋ダム	約312m <sup>3</sup> /s	約150m <sup>3</sup> /s	約162m <sup>3</sup> /s
	阿木川ダム	約389m <sup>3</sup> /s	約118m <sup>3</sup> /s	約271m <sup>3</sup> /s
	徳山ダム	約207m <sup>3</sup> /s	約99m <sup>3</sup> /s	約108m <sup>3</sup> /s

### 【ダムの特別防災操作状況】(水資源機構管理ダム含む(紫書き))

水系	ダム名	最大流入量	最大流入時の放流量	調整量
木曾川	味噌川ダム	約45m <sup>3</sup> /s	(特別防災操作)	約6m <sup>3</sup> /s
				約39m <sup>3</sup> /s

※中部地整管内で、氾濫注意水位を超過した観測所のみ表記しております。  
 ※本資料の最高水位は、10分ごとの観測値(速報値)です。  
 ※数値等は現時点速報値であり、今後の精査等により変更する場合があります。

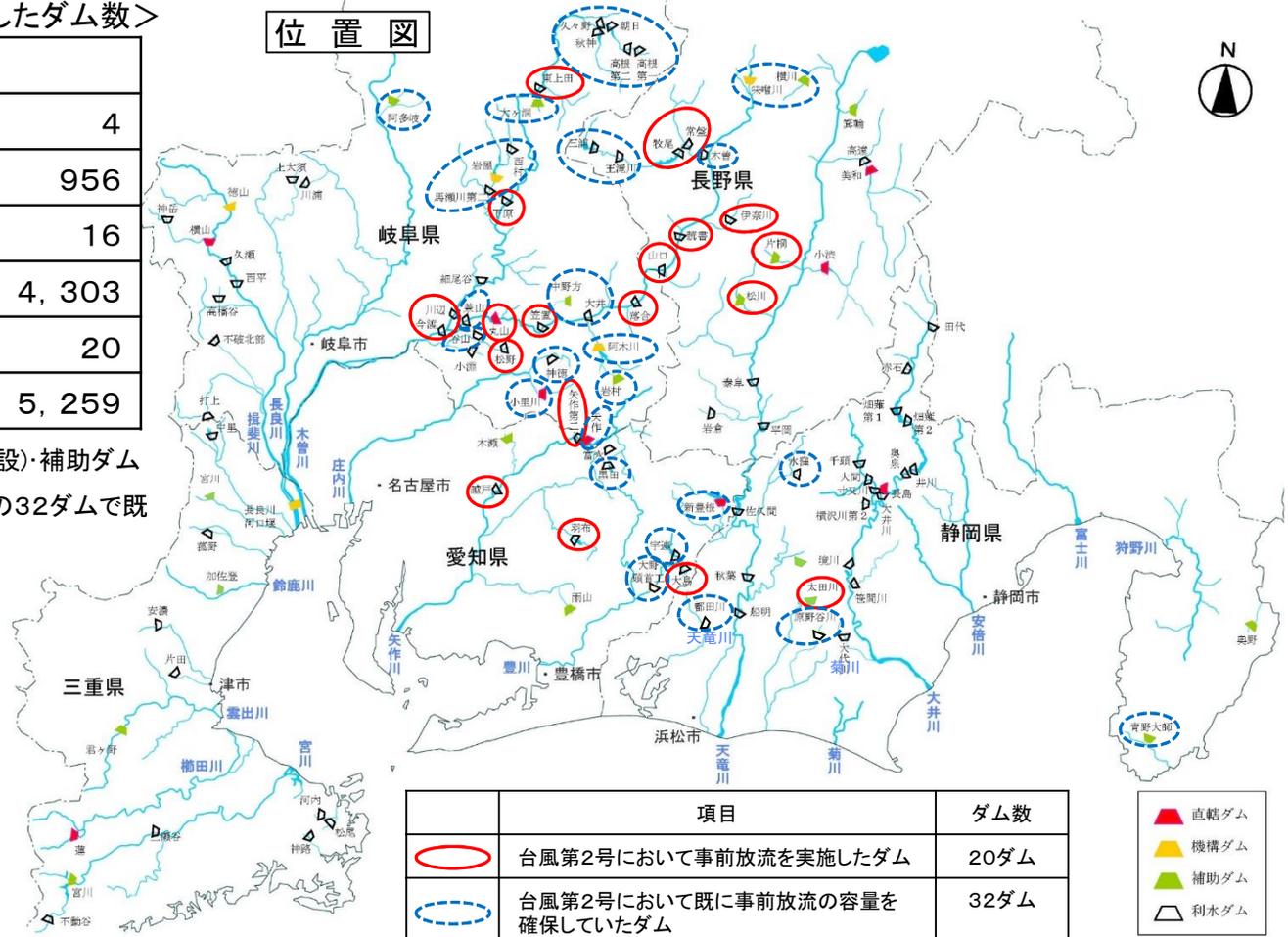
## 1-1. 令和5年台風第2号 事前放流の状況

○中部地方整備局管内の20ダム※1で事前放流を実施したことにより、約5,300万m<sup>3</sup>の容量を確保し、洪水に備えた。  
○事前放流を実施したダムに加え、中部地方整備局管内の32ダムで、既に事前放流の容量を約20,300万m<sup>3</sup>確保し、洪水に備えた。

※1 <台風第2号において事前放流を実施したダム数>

区分	ダム数	確保容量(万m <sup>3</sup> )
治水等多目的ダム※2	ダム数	4
	確保容量(万m <sup>3</sup> )	956
利水ダム	ダム数	16
	確保容量(万m <sup>3</sup> )	4,303
合計	ダム数	20
	確保容量(万m <sup>3</sup> )	5,259

※2 治水等多目的ダム: 直轄・水資源機構(特定施設)・補助ダム  
※ 上記の20ダムに加え、中部地方整備局管内の32ダムで既に事前放流の容量を確保(約20,300万m<sup>3</sup>)



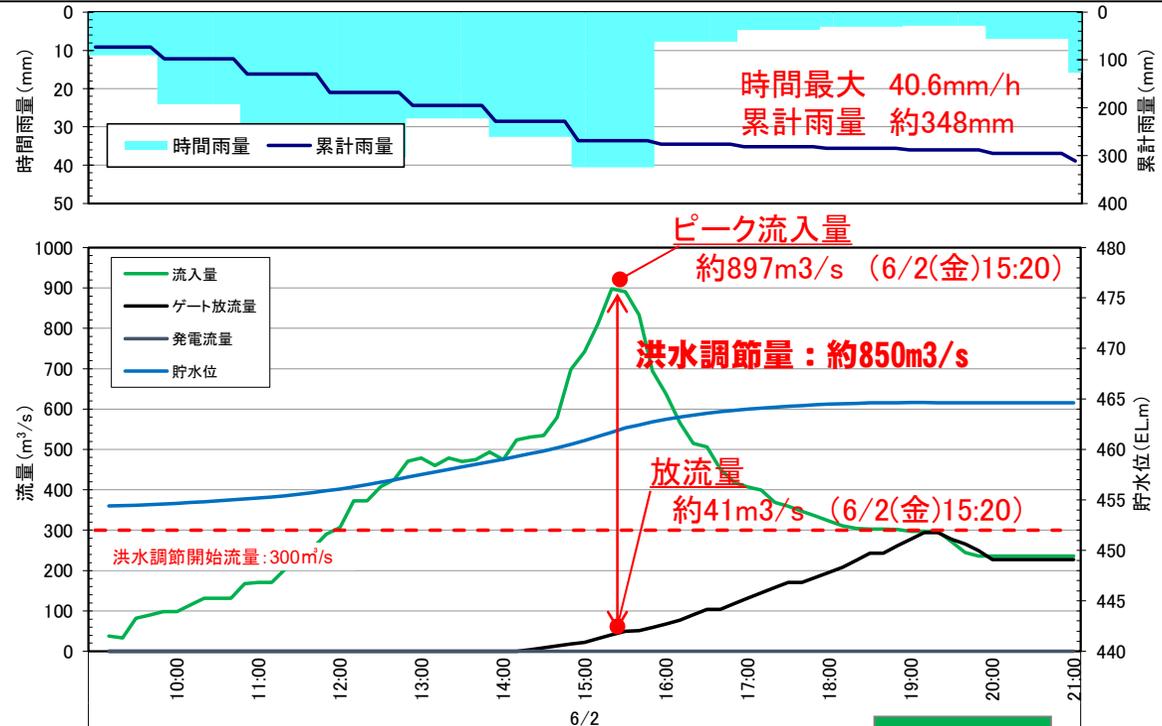
項目	ダム数
台風第2号において事前放流を実施したダム	20ダム
台風第2号において既に事前放流の容量を確保していたダム	32ダム

- ▲ 直轄ダム
- ▲ 機構ダム
- ▲ 補助ダム
- △ 利水ダム

※本資料の数値は現時点速報値であり、今後の精査等により変更となる場合があります。

## 1-1. 令和5年台風第2号 防災操作(洪水調節)の状況

- 新豊根ダムにおいて、累計雨量約348mm、時間最大40.6mm/h(6月2日15:00)を記録し、最大流入量約897m<sup>3</sup>/sに対し、ダム地点で最大約856m<sup>3</sup>/s(放流量約41m<sup>3</sup>/s)を貯留。
- 新豊根ダム下流の浦川(うらかわ)水位観測所地点において、河川水位を最大約130cm低減させていたと想定。



■大千瀬川計画高水流量図(単位:m<sup>3</sup>/s)

ダム地点における計画高水流量1,800m<sup>3</sup>/sを一定率一定量放流方式により700m<sup>3</sup>/sに調節し、浦川地点の基本高水流量3,800m<sup>3</sup>/sを3,100m<sup>3</sup>/sに低減させる計画となっています。



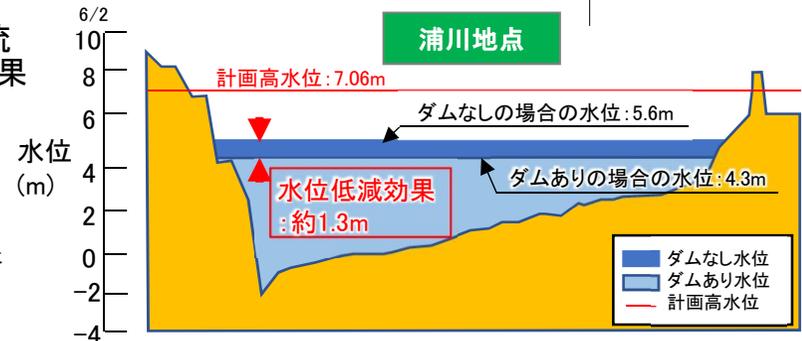
参考:新豊根ダムパンフレットより

○新豊根ダムによる浦川地点における流量低減効果は約850m<sup>3</sup>/s、水位低減効果は約1.3mであった。

ダムなし水位: 5.6m  
→ ダムあり水位: 4.3m

※1 流量の低減効果の算出方法は、浦川地点の実績流量にダム調節量(Q<sub>in</sub>-Q<sub>out</sub>)を累計。

※2 水位は浦川地点のHQ式(R4年観測)より逆算した値

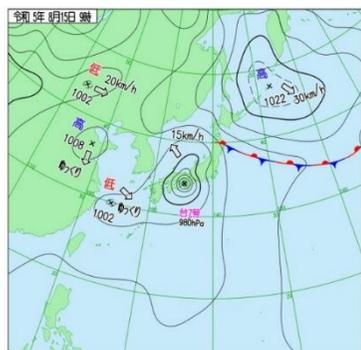


※数値等は現時点速報値であり、今後の精査等により変更する場合があります。

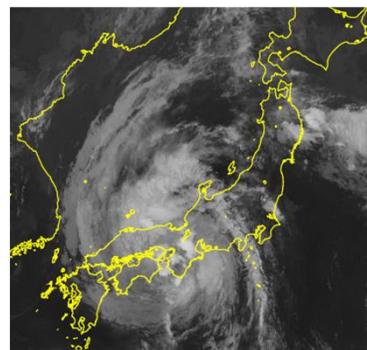
## 1-2. 令和5年台風第7号 出水概要

- 令和5年8月15日明け方に和歌山県潮岬付近に上陸した台風第7号は、台風本体やその周辺の暖かく湿った空気により、大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴って非常に激しい雨が降り続いた。
- 三重県中南部を中心に、降り始めからの総降水量が多い所では約700mmとなり、平年の8月の月降水量を超えた。
- 櫛田川水系では、非常に激しい雨が長時間降り続き、波瀬雨量観測所においては総雨量354mmを記録した。

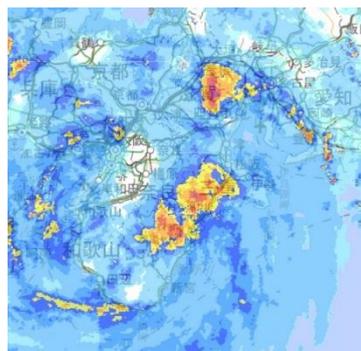
### 【総降水量分布図】



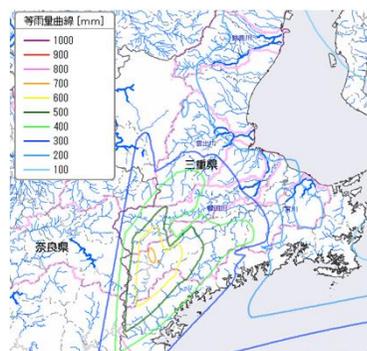
8月15日 9:00 実況天気図  
出典: 気象庁HP



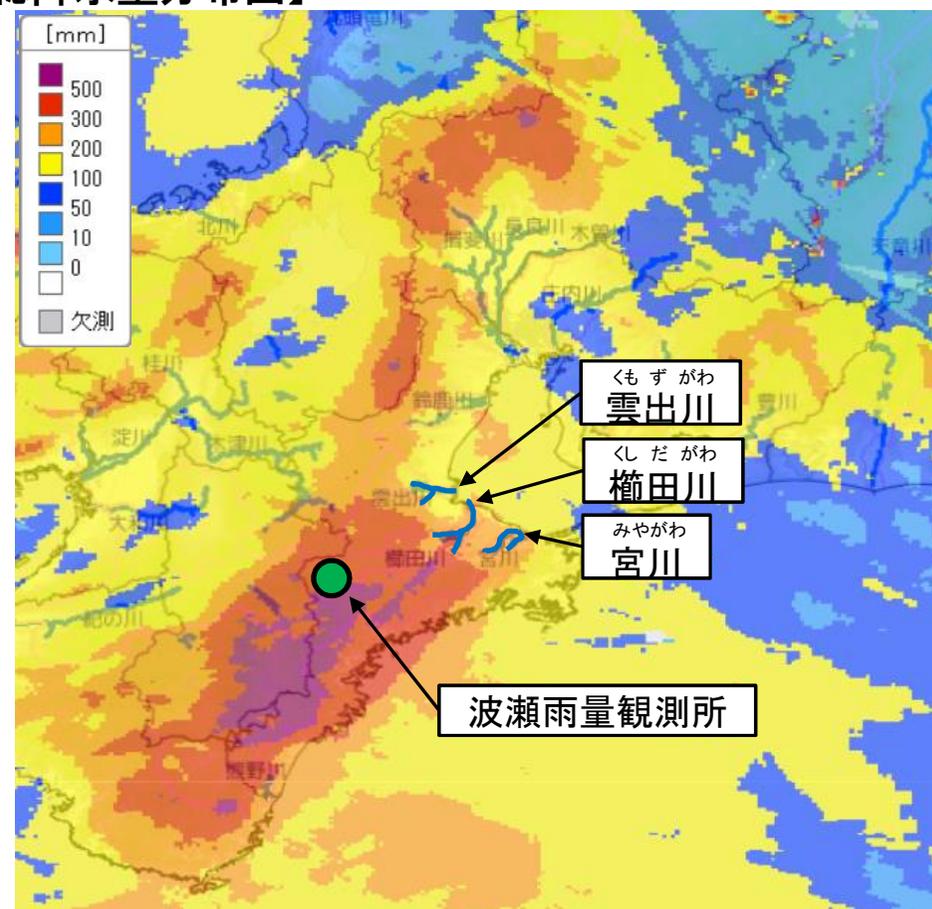
8月15日 8:00 気象衛星画像  
出典: 気象庁HP



8月15日 8:00 レーダー雨量  
出典: 川の防災情報



等雨量曲線図  
8月14日0時～8月16日2時



令和5年8月12日04:00～8月16日9:00までの累加雨量

## 1-2. 令和5年台風第7号 出水概要

- 管内の国管理河川では、<sup>くしだがわ</sup>櫛田川水系櫛田川で氾濫危険水位を超過し、<sup>くもずがわ</sup>雲出川水系中村川・<sup>はぜがわ</sup>波瀬川及び宮川水系宮川で避難判断水位を超過した。
- 管内の国及び水資源機構が管理するダムの内、木曾川水系、櫛田川水系の4ダムで洪水調節を実施した。

### 【水位状況】

単位:m

水系名	河川名	観測所名	今回 最高水位	水防団 待機水位	氾濫 注意水位	出動水位	避難 判断水位	氾濫 危険水位	計画 高水位
木曾川	揖斐川	岡島	8/16 0:20 1.85	0.50	1.30	2.40	3.40	4.10	5.32
		万石	8/16 5:50 4.23	2.50	4.00	5.00	5.80	6.40	7.09
	根尾川	山口	8/16 8:30 3.05	1.40	2.20	3.50	3.50	3.90	-
	牧田川	烏江	8/16 1:20 6.81	5.00	6.50	7.30	7.30	7.60	9.77
	多度川	多度橋	8/16 2:10 0.35	-0.40	0.00	0.30	1.30	2.00	2.04
雲出川	中村川	島田橋	8/15 10:00 2.54	1.50	2.30	2.50	2.50	2.80	3.88
	波瀬川	下川原橋	8/15 9:50 2.34	1.70	2.20	2.20	2.20	3.40	3.49
櫛田川	櫛田川	両郡	8/15 11:50 5.97	3.00	3.50	4.00	5.80	6.70	8.63
	櫛田川	櫛田橋	8/15 12:10 5.25	3.00	3.50	4.70	4.70	5.10	7.09
	佐奈川	西山橋	8/15 11:50 2.34	1.60	2.00	2.40	2.70	3.20	3.27
宮川	宮川	岩出	8/15 13:10 7.56	4.20	5.00	6.10	7.20	8.20	9.61

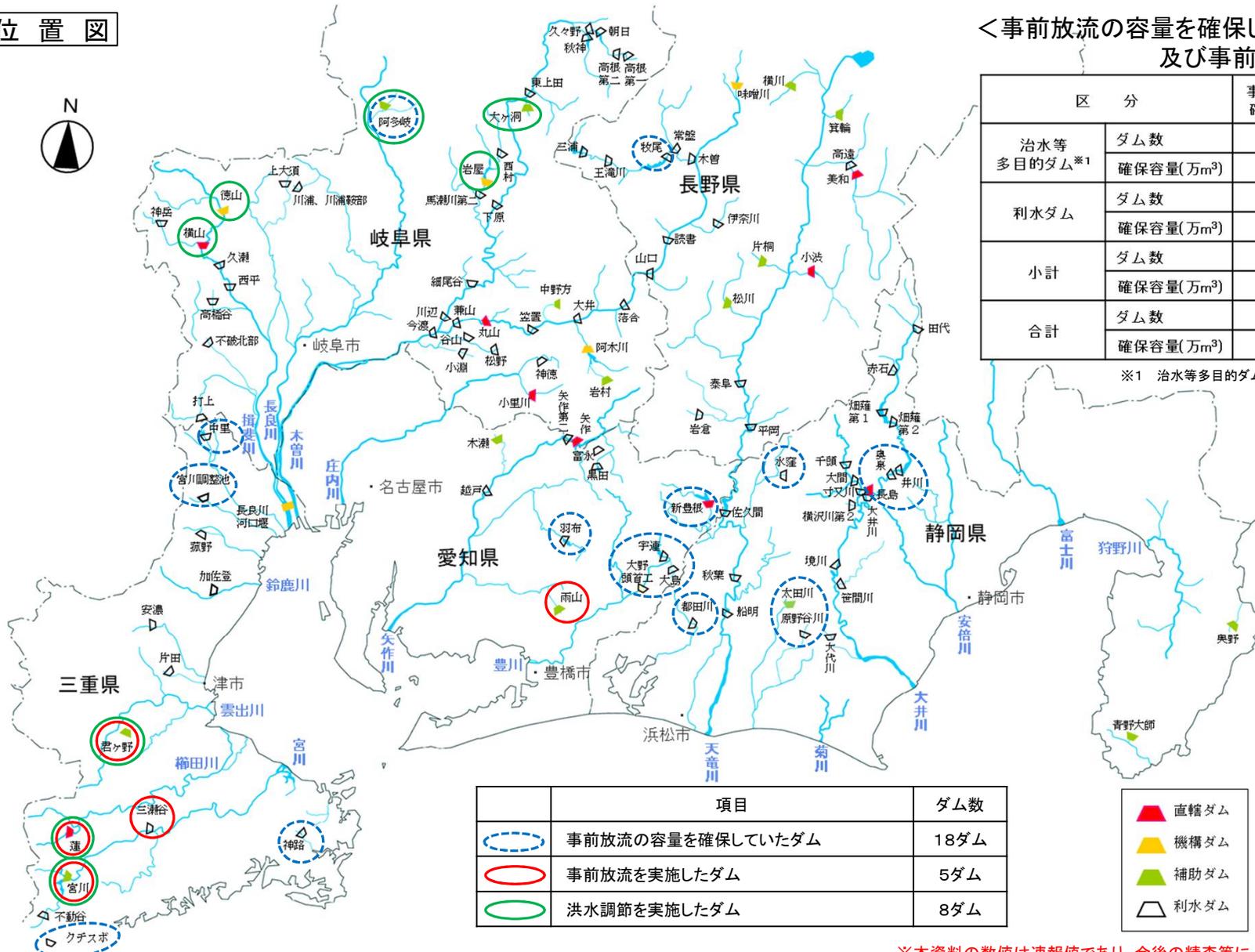
### 【ダムの洪水調節状況】 8月30日時点（水資源機構管理ダム含む（紫書き））

水系	ダム名	最大流入量	最大流入時の放流量	調整量
櫛田川	蓮ダム	約918m <sup>3</sup> /s	約349m <sup>3</sup> /s	約569m <sup>3</sup> /s
木曾川	横山ダム	約806m <sup>3</sup> /s	約288m <sup>3</sup> /s	約518m <sup>3</sup> /s
	徳山ダム	約609m <sup>3</sup> /s	0m <sup>3</sup> /s	約609m <sup>3</sup> /s
	岩屋ダム	約723m <sup>3</sup> /s	0m <sup>3</sup> /s	約723m <sup>3</sup> /s

※中部地整管内で、氾濫注意水位を超過した観測所のみ表記しております。  
 ※本資料の最高水位は、10分ごとの観測値（速報値）です。  
 ※数値等は令和5年8月30日現在速報値であり、今後の精査等により変更する場合があります。

## 1-2. 令和5年台風第7号 事前放流の状況

位置図



＜事前放流の容量を確保していたダム数  
及び事前放流を実施したダム数＞

区 分		事前放流の容量を確保していたダム	事前放流を実施したダム
治水等多目的ダム※1	ダム数	4	4
	確保容量(万m <sup>3</sup> )	1,298	1,054
利水ダム	ダム数	14	1
	確保容量(万m <sup>3</sup> )	9,659	324
小計	ダム数	18	5
	確保容量(万m <sup>3</sup> )	10,957	1,378
合計	ダム数	23	
	確保容量(万m <sup>3</sup> )	12,335	

※1 治水等多目的ダム:直轄・水資源機構(特定施設)・補助ダム

	項目	ダム数
	事前放流の容量を確保していたダム	18ダム
	事前放流を実施したダム	5ダム
	洪水調節を実施したダム	8ダム

	直轄ダム
	機構ダム
	補助ダム
	利水ダム

※本資料の数値は速報値であり、今後の精査等により変更となる場合があります。

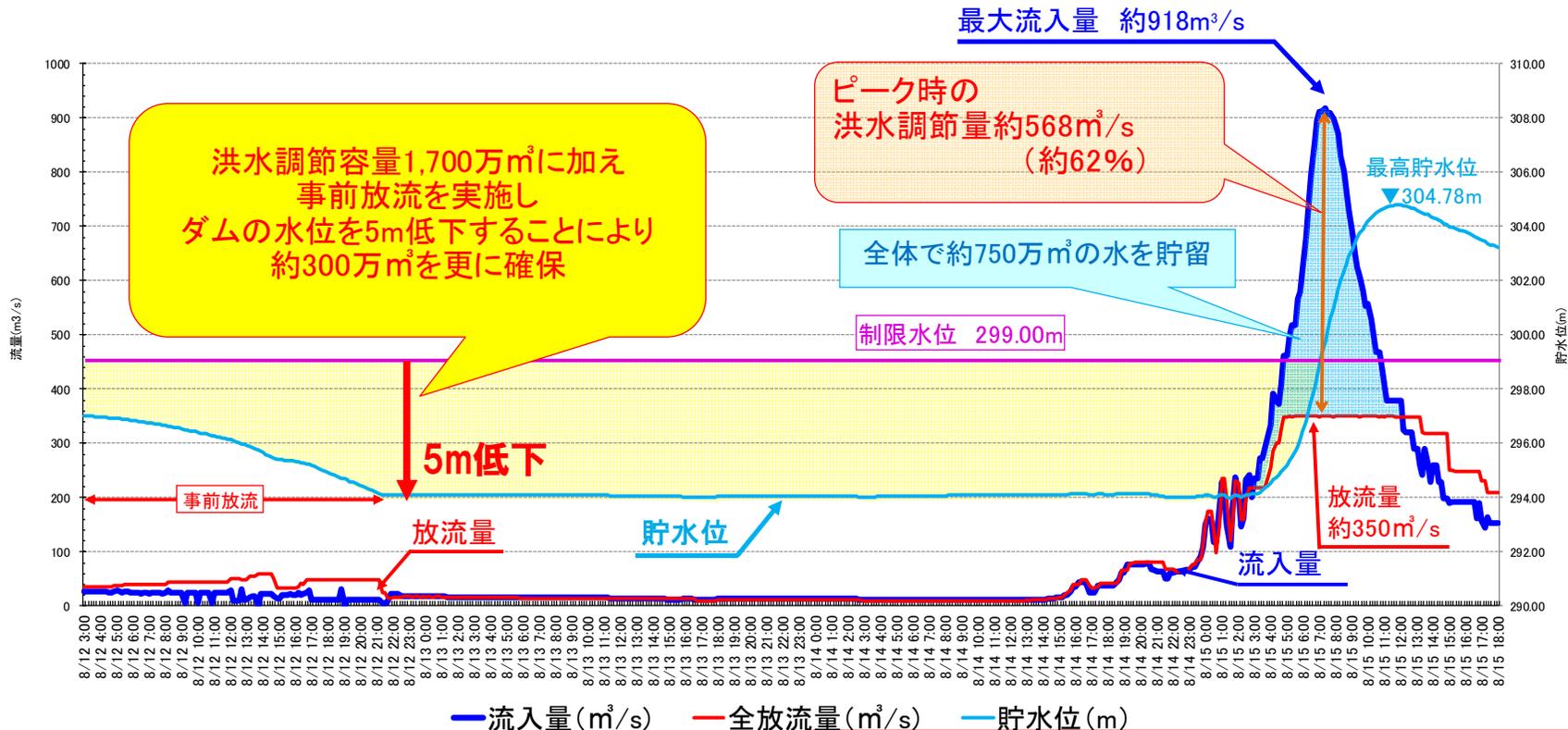
## 1-2. 令和5年台風第7号 防災操作(洪水調節)の状況

- 台風第7号による大雨の影響により、蓮ダムでは**最大流入量約918m<sup>3</sup>/s**を観測しましたが、防災操作(洪水調節)を実施しダムに洪水を貯留したことから、下流へ流れる洪水の量を**最大で約568m<sup>3</sup>/s**、流入量の約62%抑え、約350m<sup>3</sup>/sに低減した。
- **洪水調節容量1700万m<sup>3</sup>に加え、事前放流を実施しダムの水位を5m低下**することにより、さらに約300万m<sup>3</sup>を確保し、計2000万m<sup>3</sup>の容量を確保した。

令和5年8月 台風第7号における蓮ダムの防災操作状況 2023/8/12 3:00 から 2023/8/15 18:00 まで



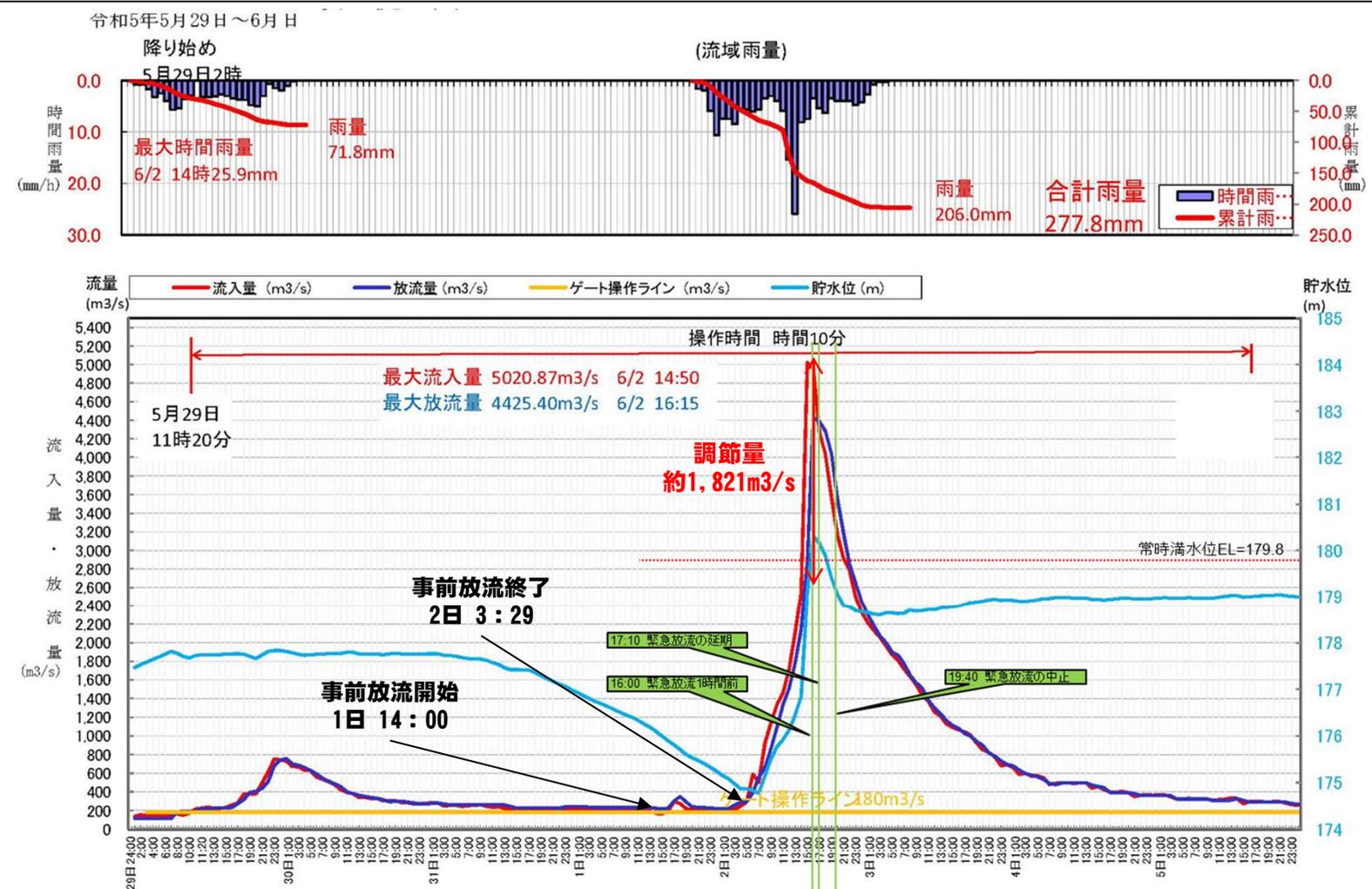
(注1)この数値は速報として取り急ぎまとめたもので、後日一部訂正や追加をすることがあります。



※本資料の記載数値は「速報値」のため、後日一部訂正また追加をすることがあります。

## 1-3. 丸山ダム、矢作ダムの異常洪水時防災操作(未実施)

○台風第2号の際に、丸山ダム及び矢作ダムにおいて、異常洪水時防災操作開始水位(EL 186.3m)を越え、さらにサーチャージ水位(EL 188.3m)を越えることが予測されたため、異常洪水時防災操作の実施のための実施前通知等を行った。  
○最終的には、異常洪水時防災操作開始水位を越えない予測となったため、異常洪水時防災操作は実施しなかった。

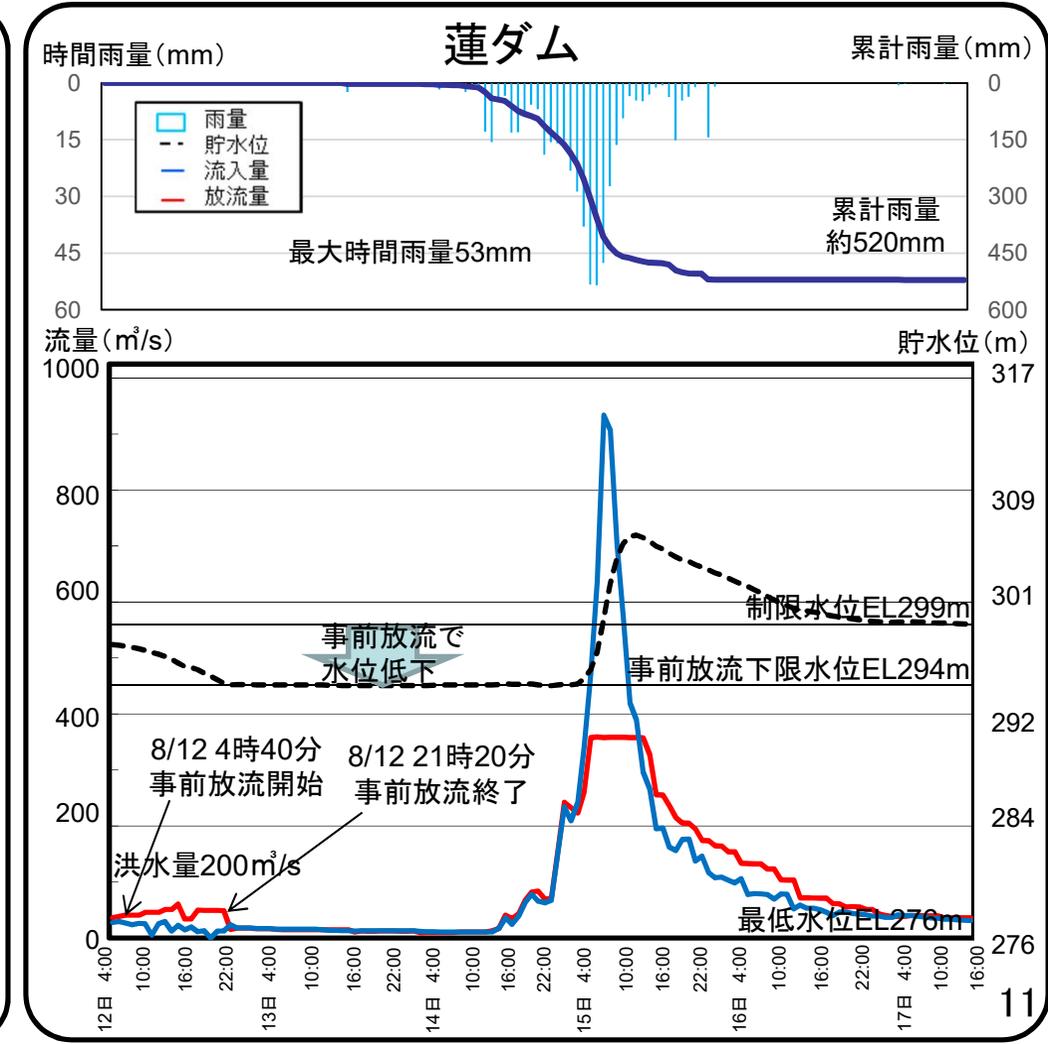
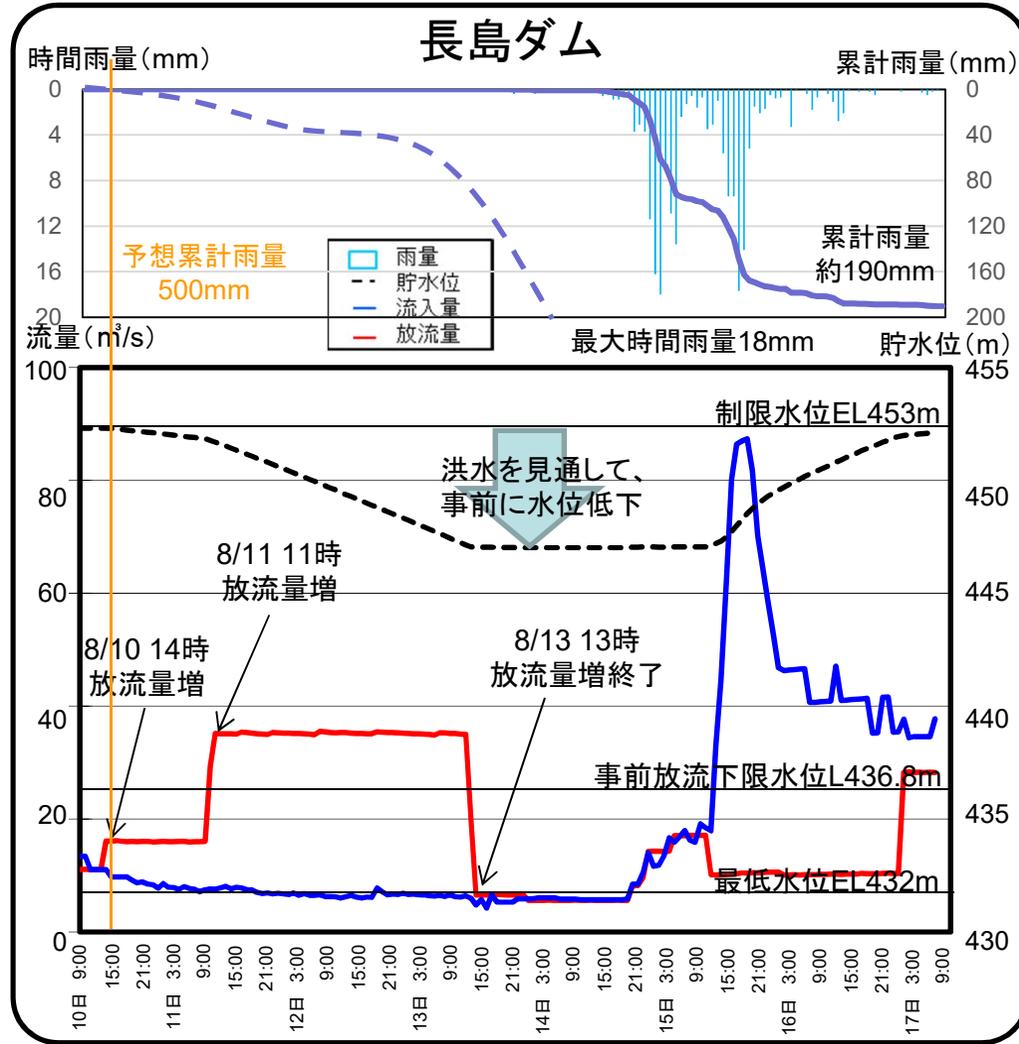


台風第2号における丸山ダムの防災操作状況

## 1-4. 蓮ダム、長島ダムの事前放流

○台風第7号の際に、長島ダムにおいて、8月10日9時時点のJWAアンサンブル予測上位で累計雨量500mmの予測となっていたため、基準降雨量(358mm/48時間)を超過していない(8月10日9時時点のGSM-G 2mm)が放流を行い、出水に向けた容量の確保を行った。

○蓮ダムにおいて、事前放流下限水位まで水位低下を行っても異常洪水時防災操作を回避できない予測となり、さらなる事前放流の検討を行った。(最終的には、降雨予測が小さくなり、さらなる事前放流は実施せず)



## 1-5. 横山ダムのダム運用高度化(増電に資する取り組みについて)(1/2)

○横山ダムにおいては昨年度に引き続き、出水後等に発電に資する放流活用操作を実施し**2年間で4回**取り組みを行った。

発電に資する放流活用操作の試行日時※	活用した量(万m <sup>3</sup> )	増電量(MWh)	備考
令和4年8月7日0時頃～8月8日8時頃	約250	約350 (一般家庭約1300戸の1ヶ月消費電力量相当)	洪水後の貯留水を活用
令和4年9月20日23時頃～9月22日1時頃	約120	約160 (一般家庭約600戸の1ヶ月消費電力量相当)	洪水とならない出水を活用
令和5年7月1日22時頃～7月2日21時頃	約7.6	約8.8 (一般家庭約1000戸の1日消費電力量相当)	洪水とならない出水を活用
令和5年8月17日17時頃～8月19日1時頃	約197	約230 (一般家庭約883戸の1ヶ月消費電力量相当)	洪水後の貯留水を活用

※開始時刻は発電に資する放流活用操作のためゲート放流を停止した時刻、終了時刻は発電活用により洪水期制限水位以下に水位が低下した時刻を記載

## 1-5. 横山ダムのダム運用高度化(増電に資する取り組みについて)(2/2)

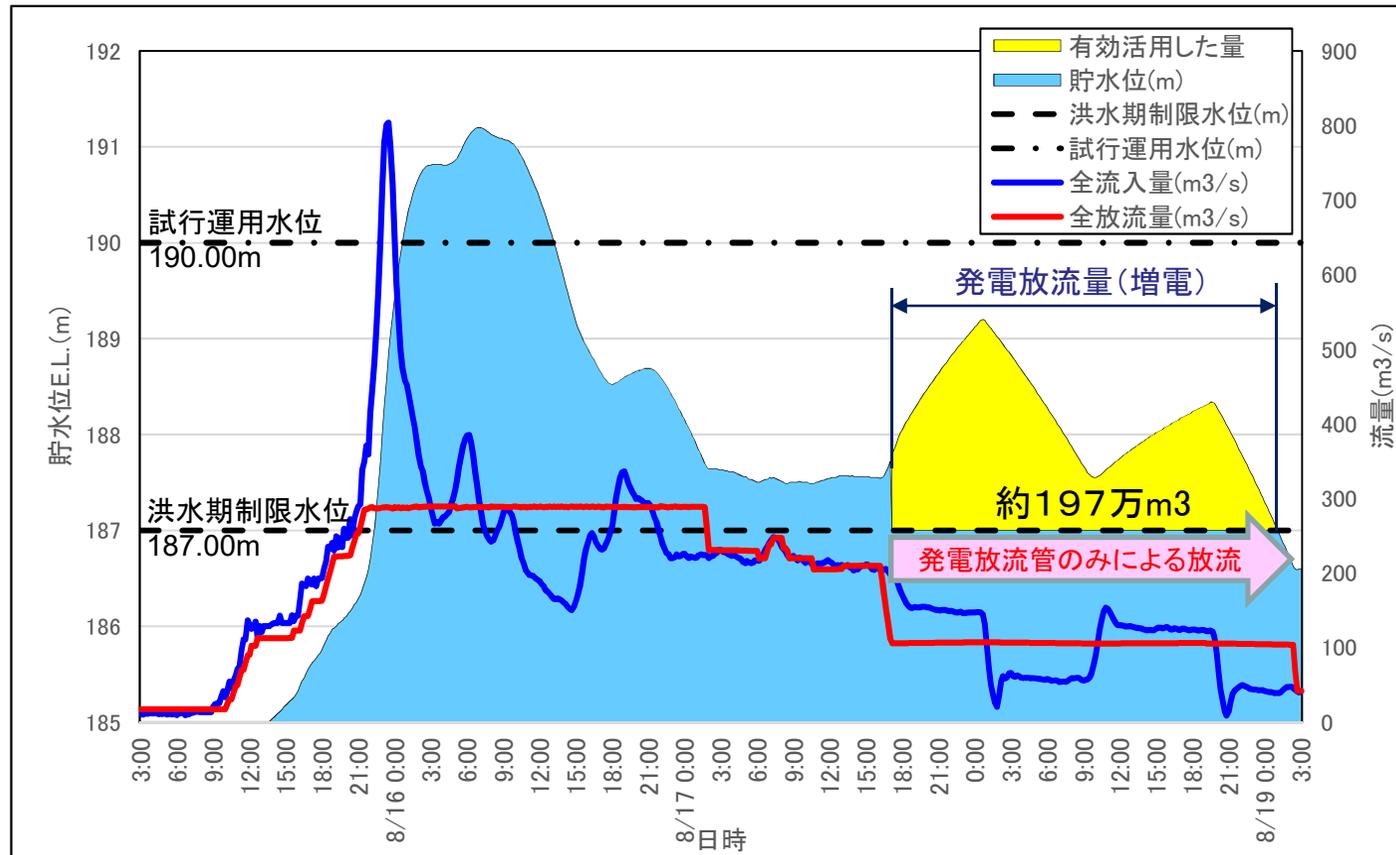
○令和5年台風第7号に伴う出水において、令和5年8月17日17時頃から8月19日1時頃にかけて洪水後の貯留水を活用した発電に資する放流活用操作を行い、通常の場合と比較して約197万m<sup>3</sup>の水を発電に有効利用しました。

○これにより、約230MWhの増電※1となつたと試算されます。

○これは、一般家庭約883戸が1ヶ月に消費する電力量※2に相当します。

※1 中部電力株式会社にて算出。

※2 一般家庭の1ヵ月の消費電力量を260kWhとして試算したもの。



- 小渋ダムにおいては、平成12年度より土砂バイパストンネル等を整備し、平成28年度に試験運用を開始。
- 令和2年6/30 15:40から7/16 11:30までの約2週間(15日19時間50分)にわたり運用。
- この出水の後、トンネル水路インバート部、鋼製ライニング部の被災を確認。

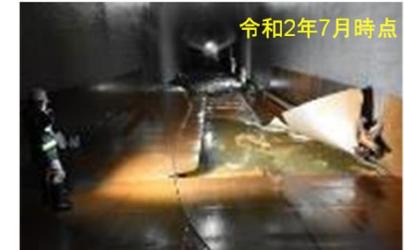
土砂バイパストンネル概要図



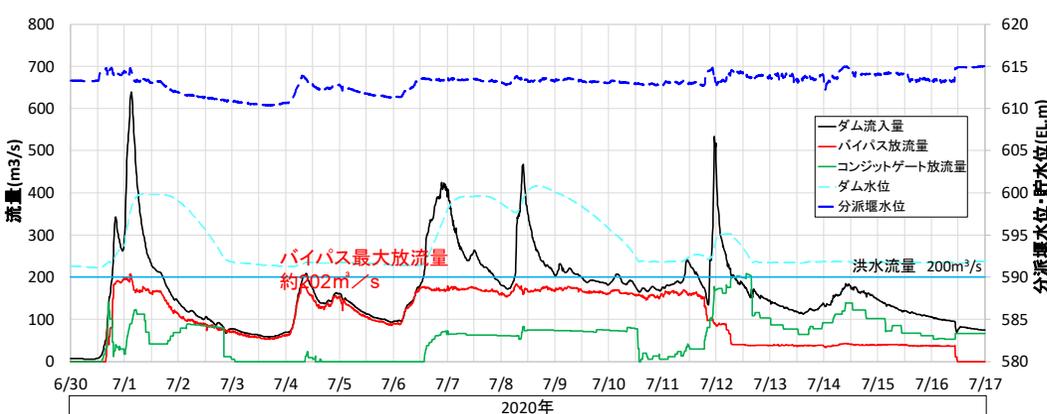
- 分派堰:** 洪水の一部をバイパストンネルへ導く。
- 管理用トンネル:** トンネル本孔へ行くための通路。
- 第3貯砂堰:** 洪水時に流れ込む土砂のうち、粗い土砂を捕捉。
- 呑口:** バイパストンネルに流れ込む水量の調節。

被災状況

出水後、トンネルインバート部、鋼製ライニング部の被災を確認



流量・水位



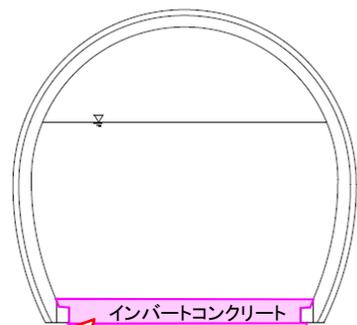
令和2年6/30 15:40から7/16 11:30までの約2週間(15日19時間50分)にわたり運用した。  
トンネル内では、約500mm程度の巨石が確認されている。



- トンネル水路インバート部は、耐摩耗性向上方策としてコンクリート強度、インバート厚などを見直しして施工。
- 呑口部の鋼製ライニング部においても、材質及び設置範囲を見直すことにより、耐摩耗性を向上。

### ■水路インバート部

- ・ コンクリートは耐摩耗性の向上対策として高強度70N/mm<sup>2</sup>を採用。
- ・ インバート厚さは、45cm → 60cm 更にインバート下は岩着とした。



- インバートの増厚  
現行45cm → 60cm(現行+15cm)
- コンクリート強度  
50N/mm<sup>2</sup> → 70N/mm<sup>2</sup>

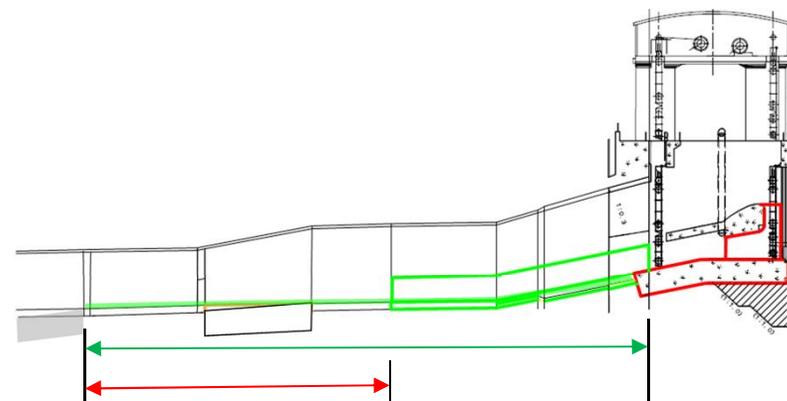
充填コンクリートも70N/mm<sup>2</sup>



水路インバート部

### ■呑口部

- ・ 材質を普通鋼から、より耐摩耗性の高いステンレス鋼に変更した。
- ・ 機能向上を目的とし、範囲延伸、変化点の抑制、材質の強化を図った。



呑口部鋼製ライニング部

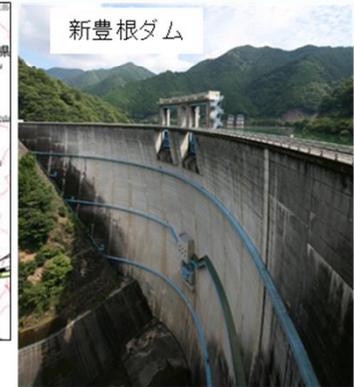


## 『新豊根ダム完成50周年記念式典』を開催

新豊根ダム(愛知県北設楽郡豊根村)が完成50周年という節目にあたり、新豊根ダム水源地域等の歴史、文化、伝統を誇りとしつつ、過去の自然災害やダムがもたらした恵みを振り返り、新豊根ダムに関係する地域住民の皆様へ感謝の意を表すとともに水源地域や受益地との交流、活性化を図るため「新豊根ダム完成50周年記念式典」を開催しました。

### ■式典概要

日時：令和5年11月18日(土) 13時30分～14時30分  
会場：豊根村 とよね文化広場・村民ホール  
式次第：花祭、開式の辞、式辞、来賓祝辞、事業報告、表彰式、植樹の儀、閉式の辞  
主催：新豊根ダム完成50周年記念事業実行委員会(豊根村、電源開発株式会社、浜松河川国道事務所)  
出席者：根本 幸典 衆議院議員、今枝 宗一郎 衆議院議員(秘書)、牧野 たかお 参議院議員(秘書)、愛知県議会議員、静岡県議会議員、浜松市議会議員、豊根村議会議員、伊藤 浩巨 豊根村村長、中野 祐介 浜松市長、村上 孝治 東栄町長、水管理・国土保全局 河川環境課長(代理) 大野 良徳 流水管理室長、佐藤 寿延 中部地方整備局長、高橋 伸輔 河川部長、中島 一 愛知県建設局局长(代理)、勝又 泰宏 静岡県 交通基盤部長、名久井 孝史 浜松河川国道事務所長、田中 康寛 設楽ダム工事事務所長、電源開発株式会社 加藤 和夫 執行役員水力発電部長、ふるさと豊根会(水没関係者)ほか(計約110名)



### ■地元挨拶(開式の辞)



○衆議院議員の根本幸典先生をはじめ、国県関係町村の皆様、ふるさと豊根会の皆様、水没された地域の皆様など多くの皆様の臨席を賜り誠にありがとうございます。  
○新豊根ダム完成50年目の今日の日を迎えることが出来たのは、ひとえに本ダムに関わった多くの皆様の支えによるものであり心から感謝申し上げます。

### ■来賓祝辞



○建設当時力添えいただいた全ての皆様、維持・治水・発電にご協力いただいている全ての皆様に心より感謝申し上げます。  
○豊根村と東三河地域はこれからも一体となって成長していきたい。  
○この地域の水が豊川流域にも来ており、農業・工業・飲料水でお世話になっている。そのため、下流域は、山と向き合って生きていく必要があると思っている。

### ■式辞



○近年、気候変動による大雨で洪水被害が多発し、今年6月の台風第2号では観測史上第3位となる洪水を調節し下流被害を防止した。これまでの防災操作は42回に及び、下流域を洪水から守ってきた。  
○発電では、原発1基分にも相当する約100万KWの発電を有し、更に豊川水系にも約30億トンの水を供給して三遠南信地域を支えている。  
○建設にご協力いただいた水没移転者の皆様に深く感謝申し上げます。



○これまでの先人達が進めた新豊根ダムをはじめとした治水事業の偉大さを実感するとともに、温暖化の影響で激甚化・頻発化する自然災害から命と暮らしを守るため治水事業の必要性を改めて認識した。  
○みどり湖などの自然豊かな施設を活用し、三遠南信地域の更なる活性化につながればと考えている。



【主催者挨拶(閉式の辞)】  
電源開発(株)加藤 和夫



【事業報告】  
浜松河川国道事務所  
名久井 孝史



【河川愛護表彰】  
(豊根村観光協会)



【植樹の儀(電源開発(株)寄贈 荘川洲)】



【花祭り】(下黒川花祭保存会)

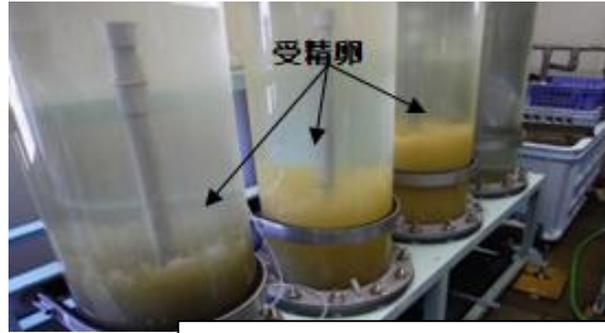
- 目的：長良川中流でふ化した仔アユが海域まで降下する際の減耗を減らすため、海域に最も近い長良川河口堰地点で仔アユをふ化させ、海域に直接放流
  - 実施主体：長良川漁業対策協議会、長良川漁業協同組合
  - 実施状況：平成17年度から実施。令和5年度で19回目
  - 省力化・効率化の取組：漁業者の高齢化・減少を踏まえ、アユふ化水路（シュロ活用型）に加えて、付着沈性卵用ふ化装置を令和2年度に試行運用。試行の結果、令和3年度からは付着沈性卵ふ化装置で実施
- 【試行結果】
- ・維持管理作業の負担軽減
  - ・発眼率の向上（シュロ 約70%→ふ化装置 約80%）

## アユふ化水路でのふ化 (令和2年度まで)



アユふ化水路へのシュロの設置作業

## 付着沈性卵用ふ化装置でのふ化 (令和3年度以降)

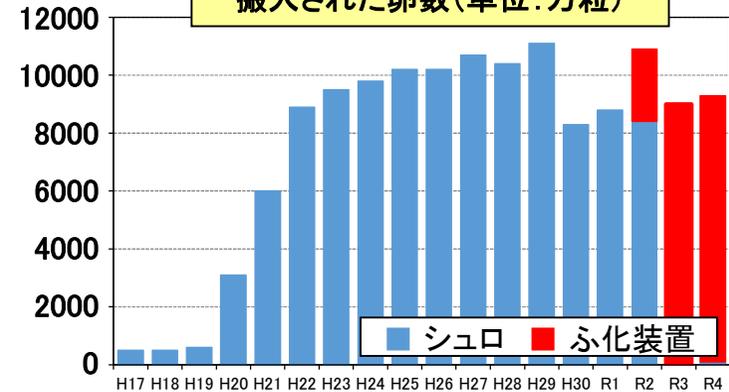


ふ化装置に收容された受精卵

### ◆ 令和5年度 実施内容

- ・付着沈性卵用ふ化装置によるアユふ化
- 予定卵数 約9000万粒
- 運用期間 10月18日～

### 搬入された卵数(単位:万粒)



アユふ化水路に設置されたシュロ



仔アユの発眼状況



ふ化した仔アユの状況

- 実施主体：
  - 長良川漁業対策協議会
  - 長良川漁業協同組合
- 技術協力：
  - 岐阜県里川振興課、岐阜県水産研究所
- 施設・準備協力：
  - 国土交通省木曾川下流河川事務所
  - 水資源機構長良川河口堰管理所